

3/10
赤旗

介護の現場

2021年報酬改定

①

ば退職する人が大量に出てく
ると懸念します。

いまは使命感で

新型コロナウイルス感
染症で介護事業所が深刻
な打撃を受けています。
4月から介護保険制度の
報酬が0・7%上がりま
すが、介護現場からはこ
れではもたないとの悲鳴
が上がります。

いまは使命感で
「いまは利用者の生活を支
えるという使命感で働いてい
るが、ひと段落したら辞める
人が出てくる。多くのヘルパ
ーは、自分がコロナに感染し
たらどうなるのか、利用者に
感染させてしまったら誰が責
任をとるのか、不安を感じて
いる。報酬を上げなければ人
手不足が加速する」

しかし、4月の報酬改定
で、訪問介護の基本報酬は1
回あたり1単位(10円)しか
上がりません。

千葉県船橋市で非常勤の訪
問介護員(ホームヘルパー)

として働いている鶴井貴子さ
ん(59)。コロナが収束され



訪問介護は在宅でくらす高
齢者を支援する(千葉勤労者福祉社会提供)

最後はへ口へ口

龜井さんは01年から働きだ
し、現在は週4日勤務。8人
の利用者を担当しています。
時給はほとんど上がりず、移
動費は出るもの、前のサー
ビス終了から次のサービス開

始までの待ち時間は無給。利
用者が入院したり、亡くなっ
たりすると仕事が減るので、
収入の浮き沈みも激しいとい
います。

制度発足当初は一回2時間

が始まって21年。介護報酬は
繰り返し引き下げられ、サー
ビス内容も次々改悪されてき
ました。改悪の一つが慶弔な
がら、掃除、洗濯、食事
準備などの生活援助まで、介

時間にならない。移動や待機
の時間も増えた。特に火曜日
は4件中3件が入浴介助。最
後の利用者の家に着くころに
はへ口へ口になる」

体が持たないので常勤で働

くことは考えられないという
龜井さん。利用者の生活を支
えなければならないという使
命感と、利用者とにかく心を
通わせることができるという
やうがいが心の支えになって
います。

訪問介護は、入浴や排せ
つ、食事の介助といった身体
介護から、掃除、洗濯、食事
準備などの生活援助まで、介
護員(ホームヘルパー)
ヘルパーの仕事は基本的に
自宅から利用者宅への直行直
帰。普段は1ヶ月に1度、事
じ、いまは4回入らないと4

ヘルパー、募る不安と孤独

2000年に介護保険制度
が始まって21年。介護報酬は
のサービス提供が一般的でし
た。ところが、制度改悪で現
在は1回1時間が一般的にな
りました。

「以前は午前と午後に1回
ずつ入れば4時間働けたの
に、いまは4回入らないと4

(つづ)